

高等学校 令和8年度

教科 国語 科目 国語表現

対象学年組： 第3 学年 M 組

単位数： 2 単位

教科担当者：

使用教科書： 発行者 東京書籍

教科書記号・番号 国表702

教科書名

教科 「国語」 の目標

【知識及び技能】	社会生活に必要な国語の知識を身に着け、適切に使用できる技能を養う。
【思考力、判断力、表現力等】	社会生活を行う上で必要な伝え合う力、深く考える力、効果的に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉の持つ力を認識し、国語と我が国の言語文化を大切に、言語感覚を磨き、自らの課題に真摯に取り組む態度を養う。

科目 「国語表現」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本語の文章表現及び会話表現の知識と技能を身に着ける。	的確に判断し、思考を表現する力を養う。	言葉を大切にし、自らの課題に真摯に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容のまとめり	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 表現とは何か 【知識及び技能】 漢字の習得・語彙の獲得・言語知識 【思考力、判断力、表現力等】 色々な表現について考える 【学びに向かう力、人間性等】 授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】 内容理解・課題作成	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識が身に着いたか、様々な表現が理解できたか 【思考・判断・表現】 授業中の発問に適切に応答し、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	5
	B 単元 1分かりやすく説明しよう 【知識及び技能】 漢字の習得・語彙の獲得・言語知識 【思考力、判断力、表現力等】 効果的な情報の整理・伝達 【学びに向かう力、人間性等】 授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】 内容理解・課題作成	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識が身に着いたか、効果的な情報の整理・伝達が身に着いたか 【思考・判断・表現】 授業中の発問に適切に応答し、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	10
	定期考査				○	○		1
	C 単元 2身体で表現しよう 【知識及び技能】 漢字の習得・語彙の獲得・言語知識 【思考力、判断力、表現力等】 効果的な表現方法 【学びに向かう力、人間性等】 授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】 内容理解・課題作成	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識が身に着いたか 効果的な表現方法が出来たか 【思考・判断・表現】 授業中の発問に適切に応答し、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15

D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
定期考査				○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容のまとめり	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学期	E 単元 3「問い」を考えよう 【知識及び技能】 漢字の習得・語彙の獲得・言語知識 【思考力、判断力、表現力等】 効果的な表現方法 【学びに向かう力、人間性等】 授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】 内容理解・課題作成	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識が身に着いたか 効果的な表現方法が出来たか 【思考・判断・表現】 授業中の発問に適切に应答し、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15
	F 単元 【知識及び技能】  【思考力、判断力、表現力等】  【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】  【思考・判断・表現】	【知識・技能】  【思考・判断・表現】  【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査				○	○		1
	G 単元 4「自分」を表現しよう 【知識及び技能】 漢字の習得・語彙の獲得・言語知識 【思考力、判断力、表現力等】 効果的な表現方法 【学びに向かう力、人間性等】 授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】 内容理解・課題作成	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識が身に着いたか 効果的な表現方法が出来たか 【思考・判断・表現】 授業中の発問に適切に应答し、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15
	H 単元 【知識及び技能】  【思考力、判断力、表現力等】  【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】  【思考・判断・表現】	【知識・技能】  【思考・判断・表現】  【主体的に学習に取り組む態度】				
定期考査				○	○		1	
3 学期	単元 5 論理的な文章を書こう 【知識及び技能】 漢字の習得・語彙の獲得・言語知識 【思考力、判断力、表現力等】 効果的な表現方法 【学びに向かう力、人間性等】 授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】 内容理解・課題作成	【知識・技能】 漢字・語彙・言語知識が身に着いたか 効果的な表現方法が出来たか 【思考・判断・表現】 授業中の発問に適切に应答し、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15
	J 単元 【知識及び技能】  【思考力、判断力、表現力等】  【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】  【思考・判断・表現】	【知識・技能】  【思考・判断・表現】  【主体的に学習に取り組む態度】				
	K 単元 【知識及び技能】  【思考力、判断力、表現力等】  【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】  【思考・判断・表現】	【知識・技能】  【思考・判断・表現】  【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査					○	○	1



高等学校 令和8年度

教科 数学 科目 数学A

対象学年組： 第3 学年 M 組

単位数： 2 単位

教科担当者： 畠山 仁男

使用教科書： 発行者 第一

教科書記号・番号 数A718・719

教科書名 新編数学A・新編数学Aサポートブック

教科 「数学」 の目標

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 「数学A」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学 期	1章 場合の数 1節 数え上げの原則 【知識及び技能】 集合の基本的な関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の要素の個数に関する基本的な関係について理解すること。 【学びに向かう力、人間性等】 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解すること。	・指導事項 集合 集合の要素の個数 ・教材 教科書、サポートブック 等 一人1台端末・算盤の活用 等	【知識・技能】 ・集合と要素の関係を、用語や記号を用いて表現することができる。 ・複数の集合間の関係を、用語や記号を用いて表現することができる。 【思考・判断・表現】 ・具体的な場面に於いて、集合による表現を適切に選択し、それを用いて要素の個数を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集合の要素の個数に関心をもち、集合の要素の個数に関する性質を調べてみようとする。	○	○	○	11
	定期考査（第1学期中間考査）			○	○		1
	1章 場合の数 1節 数え上げの原則 【知識及び技能】 集合に関する基本的な関係について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の要素の個数に関する基本的な関係について理解すること。 【学びに向かう力、人間性等】 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解すること。	・指導事項 数え上げの原則 ・教材 教科書、サポートブック 等 一人1台端末・算盤の活用 等	【知識・技能】 ・樹形図などを利用して、起こり得る場合をどれも重複がないように順序よく調べることができる。 ・和の法則や積の法則を利用して、場合の数を数えることができる。 【思考・判断・表現】 ・数え上げにおいて、もれや重複が生じないための工夫を選択したり、自ら考えたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・起こり得る場合を、もれや重複がないように数えるための工夫について、調べてみようとする。	○	○	○	7
	1章 場合の数 2節 順列・組合せ 【知識及び技能】 具体的な事象の考察を理すること。 【思考力、判断力、表現力等】 順列および組合せの意味について理解すること。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象の考察を通して順列および組合せの総数を求めること。	・指導事項 順列 重複順列 円順列 ・教材 教科書、サポートブック 等 一人1台端末・算盤の活用 等	【知識・技能】 ・順列、重複順列、円順列の意味を理解し、その総数を計算によって求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・順列、重複順列、円順列、組合せ、同じものを含む順列の総数を求める公式の導き方を、考察したり説明したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・順列や組合せの考えに関心をもち、具体的な場面に活用しようとする。	○	○	○	8
	定期考査（第1学期期末考査）			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
2 学 期	1章 場合の数 2節 順列・組合せ 【知識及び技能】 具体的な事象の考察を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 順列および組合せの意味について理解すること。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象の考察を通して順列および組合せの総数を求めること。	・指導事項 組合せ 組合せの利用 ・教材 教科書、サポートブック 等 ・一人1台端末・算盤の活用 等	【知識・技能】 ・並び方に制約のある順列について、その総数を求めることができる。 ・組合せや同じものを含む順列の意味を理解し、その総数を計算によって求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・具体的な場面に応じて、順列や組合せを用いて場合の数を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・順列や組合せの考えに関心をもち、具体的な場面に活用しようとする。	○	○	○	10
	定期考査（第2学期中間考査）			○	○	○	1
	2章 確率 1節 確率の基本的性質 【知識及び技能】 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 独立な試行や反復試行の確率、条件つき確率の意味を理解し、簡単な場合についてそれらの確率を求めること。 期待値の意味を理解し、その値を求めること。 【学びに向かう力、人間性等】 確率や期待値を、事象の起こりやすさの判断や意思決定の場面で活用すること。	・指導事項 事象と確率 確率の基本的な性質 余事象の確率 ・教材 教科書、サポートブック 等 ・一人1台端末・算盤の活用 等	【知識・技能】 ・同様に確からしい場合の確率を求めることができる。 ・確率の加法定理や余事象の確率を用いて、確率を求めることができる。 ・独立な試行の確率や反復試行の確率について理解し、それらの確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・事象をいくつかの排反事象に分けたり、余事象に着目したりして、求めたい確率を適切な手段で計算することができる。 ・独立な試行の確率や反復試行の確率を求める式について、それらを導く過程を考察したり説明したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象の起こりやすさを1つの数値で表すことに関心をもち、確率の求め方について調べてみようとする。 ・独立な試行の確率や反復試行の確率に関心をもち、具体的な場面に活用しようとする。	○	○	○	14
定期考査（第2学期期末考査）			○	○	○	1	
3 学 期	2章 確率 1節 確率の基本的性質といろいろな確率 【知識及び技能】 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 独立な試行や反復試行の確率、条件つき確率の意味を理解し、簡単な場合についてそれらの確率を求めること。 【学びに向かう力、人間性等】 期待値の意味を理解し、その値を求めること。 確率や期待値を、事象の起こりやすさの判断や意思決定の場面で活用すること。	・指導事項 独立な試行の確率 反復試行の確率 条件つき確率 期待値 ・教材 教科書、サポートブック 等 ・一人1台端末・算盤の活用 等	【知識・技能】 ・条件つき確率の意味を理解し、その確率を求めることができる。 ・確率の乗法定理を理解し、適切な場面で定理から確率を求めることができる。 ・期待値の計算式の意味を理解し、期待値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・条件つき確率を求める式や確率の乗法定理を導く過程を考察したり説明したりすることができる。 ・意思決定の場面で確率や期待値ができることを理解し、実際に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・条件つき確率や確率の乗法定理について関心をもち、調べてみようとする。 ・期待値に関心をもち、調べてみようとする。	○	○	○	15
	定期考査（学年末考査）			○	○		1
備考	脳(前頭前野)の働きを活性化させるためのウォーキングアップメソッドとして、毎回初歩的そろばん操作を実践し、やる気・元気・根気の醸成に取り組ま						合計 70

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

対象学年組： 第3学年 M組 単位数： 2単位 教科担当者： 今武 顕  
 使用教科書： 発行者 東書 教科書記号・番号 科人306 教科書名 改訂 科学と人間生活  
 教科 「理科」 の目標

【知識及び技能】	科学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、現象を法則したり科学的に理解したり、また科学的に表現、処理する方法を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】	科学的知識を活用して事象を科学的に考察する力、物象の本質や他の事象との関係を認識し、統合的、発展的に考察する力、科学的に図、数式などを利用して表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	科学の良さを認識し積極的に科学を活用しようとする態度、それに粘り強く科学的な事実在即してものに対処して判断しようとする態度、問題解決の能力、また自身を評価改善しようとする創造性についても養う。

科目 「科学と人間生活」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
力学、熱、波及び電気などについての基本的な概念や、原理・法則を体系的に理解するとともに現象を数式化したり、物理学的に解釈したり、物理的に表現、処理したりする技能を身に付けるようにする。	物理法則を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや、変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。	自然科学のよさを認識し科学を活用しようとする態度、粘り強く考え科学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	技	態	配当 時数
2章 生命現象 【知識及び技能】 図表の見方を理解し、用語を用いて生物多様性の基礎概念を表すことができるようになる。ホメオスタシスあり方や、その特性、を理解し、さまざまなそれらについての認識を身に着けられるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 図表を見その意味するところを考察しようとする。 概念の本質をとらえ、他の概念と	指導事項 人の生命現象 ・教材 配布資料	【知識及び技能】 ホメオスタシスの仕組みを理解して、その全体を認識することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 身体各部の名称そのはたらきを理解し考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生命現象の基本的性質を理解しようとしている。	○	○	○	5
2章 生命現象 【知識及び技能】 図表の見方を理解し、用語を用いて生物多様性の基礎概念を表すことができるようになる。眼球の構造や、その特性、消化のはたらきを理解し、さまざまなそれらについての認識を身に着けられるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 図表を見その意味するところを考察しようとする。 定期考査	指導事項 人の眼 ・教材 配布資料	【知識及び技能】 人の目の構造を認識し、そのはたらきについて認識することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 眼球の各部名称そのはたらきを理解し考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 人の目の基本的性質を理解しようとしている。	○	○	○	6
2章 生命現象 【知識及び技能】 図表の見方を理解し、用語を用いて生物多様性の基礎概念を表すことができるようになる。微生物のはたらきや、その特性、利用の仕方を理解し、さまざまなそれらについての知識を身に着けられるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 図表を見その意味するところを考察しようとする。	指導事項 微生物 ・教材 配布資料	【知識及び技能】 さまざまな種類の微生物を認識し、そのからだの構造そしてちがいについて認識することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 微生物の名称そのはたらきを理解し考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 微生物の基本的性質を理解しようとしている。	○	○	○	6
2章 生命現象 【知識及び技能】 図表の見方を理解し、用語を用いて生命多様性の基礎概念を表すことができるようになる。免疫のはたらきや、その特性、を理解し、さまざまなそれらについての知識を身に着けられるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 図表を見その意味するところを考察しようとする。 概念の本質をとらえ、他の概念と	指導事項 免疫と遺伝 ・教材 配布資料	【知識及び技能】 免疫と遺伝の仕組みを認識し、それらの在り方システムについて認識することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 免疫の機構そのはたらきを理解し考察することができる。遺伝の機構そのはたらきを理解し考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 免疫遺伝の基本的性質を理解しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○	○	1

【作成の際の参考資料】

- 学習指導要領
- 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料)

教科、科目、学年、単位数、教科担当者、教科書情報をプルダウンリストから選択してください。

教科書を選択すれば、教科書の発行者、教科書番号・記号は自動で反映されます。

教科、科目の目標欄の「教科名」「科目名」は自動で反映されます。

教科・科目の目標は学習指導要領を参照し直接入力してください。

・単元の具体的な指導目標⇒単元ごとの目標を3観点それぞれで入力してください。

・指導項目・内容⇒指導事項や使用教材、ICTの活用などについて記入してください。

・評価規準⇒参考資料をもとに、単元で評価を行う観点の入力を行ってください。また、実際に評価を行う観点について表に○を入力してください（プルダウンで選択）

・配当時数⇒単元で計画している時数を入力してください。合計は2ページ目の最下部に反映されますので、単位時間数が1単位につき35単位時間を下らないようにしてください。

※学期ごとの入力枠（単位数）が不足したり、多すぎる場合は、列を挿入 or 削除して対応してください。（定期考査の枠も同様）

※年間で2ページ以内に収まるように文字のポイントや列の幅などを調整してください。

※単元名や目標等と1学期が1ページ目、2・3学期が2ページ目の設定となっています。



高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

対象学年組：第 学年 M 組 単位数：2 単位 教科担当者： 田中敏生

使用教科書： 発行者 第一 教科書記号・番号 歴総711 教科書名 新歴史総合

教科 「新歴史総合」 の目標

【知識及び技能】	総合的に歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】	歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	歴史的事象から、よりよい社会の実現を自らの課題として主体的に取り組む態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解する。	現代世界の生成に関わる歴史諸事象について、多面的・多角的に考察する。	我が国の歴史に対する理解、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて考察を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
			知	思	態	
<b>単元 歴史と私たち</b> 【知識及び技能】 歴史事象の背景にあるもの理解し、人類史の特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、歴史を読み解く問いを表現している。	・ 問い 私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結びつきがあるのだろうか。 ・ 指導事項 古代文明に起源を有する事象を取扱い歴史を考察する視点を養う	【知識・技能】 身の回りの事象と世界の歴史がつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 身の回りの事象と世界の歴史とのつながりについて考察し、自分の考えを表現している。	○	○		2
<b>単元 近代世界の出現</b> 【知識及び技能】 18世紀までのアジアの国際秩序やヨーロッパ諸国の進出について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 銀の動きに着目し、清と近隣諸国、ヨーロッパ諸国との交易の特徴について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 大西洋三角貿易がアメリカとアメリカに残した課題について考察し、表現している。	・ 問い 18世紀までに日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのだろうか。 ・ 指導事項 ①ヨーロッパ、アジアの歴史的特質 ②アジア、アフリカ、新大陸へのヨーロッパ諸国の進出 ③アジア・アメリカに向かうヨーロッパ史料の読解等	【知識・技能】 アジア各地域間の貿易やアジア諸国と欧米諸国の進出と、日本への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
<b>単元 工業化の進展と国民国家の建設</b> 【知識及び技能】 産業革命の進行と、その結果確立した資本主義による社会の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命による社会の変化に着目し、現代につながるどのような問題が生じたかを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な革命が現代社会に与えた課題を考察し、解決策を追究しようとしている。	・ 問い 欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのだろうか。 ・ 指導事項 ①イギリスの革命とアメリカの独立 ②フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け ③フランス革命の影響と国民意識の芽生え ④産業革命で変わる社会 ⑤イギリスの繁栄と国際分業体制 ・ 一人1台端末の活用、史料の読解等	【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	7
<b>単元 近代化の進展と国民国家形成</b> 【知識及び技能】 国民国家の形成について、ナショナリズムの運動に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 1848年を転換点とするヨーロッパにおける近代化の経緯について考察し、その特徴を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家の形成や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について考察し、解決策を追究しようとしている。	・ 問い 近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのだろうか。 ・ 指導事項 ①1848年～近代ヨーロッパの転換点 ②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第2次産業革命 ④帝国主義と世界の一体化 ・ 一人1台端末の活用、史料の読解等	【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	○	○	○	6
<b>単元 結びつく世界と日本の開国</b> 【知識及び技能】 ヨーロッパの進出に対し、オスマン帝国、エジプト、イランの3国がそれぞれどのような対応をとったかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 清と日本の欧米諸国への対応における相違点をあげ、その理由について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の進出に伴うアジア社会の変容が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・ 問い 近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。 ・ 指導事項 ①「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ②南・東南アジアの植民地化 ③ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 ④黒船と日本の対応 ⑤新体制と江戸幕府の滅亡 ・ 一人1台端末の活用、史料の読解等	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとしている。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1

2 学期	<p>単元 帝国主義とアジア諸国の変容</p> <p>【知識及び技能】 日本が、明治維新の諸改革によって急速に近代化を進めたことについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 明治維新の前後で国の仕組みと身分制がどのように変化したかを考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。</p>	<p>・問い 日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していったのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①新政府の誕生 ②近代国家を目指す日本 ③日本と清の近代化と日清戦争 ④列強の進出と日露戦争 ⑤日露戦争が与えた影響</p> <p>・一人1 台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>単元 第一次世界大戦と日本の対応</p> <p>【知識及び技能】 第一次世界大戦が総力戦化した構造を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の特徴と戦争の被害が拡大した要因について考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦に伴う様々な変化が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。</p>	<p>・問い 第一次世界大戦は、日本を含む世界の人人々にとってどのような戦争になったのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 ②総力戦となった第一次世界大戦 ③ロシア革命と大戦の終結</p> <p>・一人1 台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>定期考査</p>			○	○		1
2 学期	<p>単元 第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>【知識及び技能】 大戦後のヨーロッパで、平和を模索する国際秩序が構築されたことと大衆による政治参加が進んだことについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 大戦後、各国で大衆の政治参加が進んだ理由について考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。</p>	<p>・問い 欧米や日本など、世界各地に広まった大衆とは、どのようなものだったのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①ヴェルサイユ体制の成立 ②東アジアの民族自決の行方 ③中東、インドの民族自決の影響 ④ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ⑤大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ⑥日本における大衆社会の形成</p> <p>・地図や史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、その解決策について追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>単元 経済危機と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 ヨーロッパでの戦いから、アジア・太平洋にも及ぶ戦争に発展する経緯に着目して理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 なぜ第二次世界大戦では多くの犠牲者が出るようになったのかを考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 大衆の戦争参加が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。</p>	<p>・問い 大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①世界恐慌が与えた影響 ②ファシズムの台頭と拡大 ③政党政治に断絶と満州事変 ④日中戦争の始まり ⑤第二次世界大戦の展開 ⑥戦局の悪化と被害の拡大 ⑦第二次世界大戦の終結とその惨禍</p> <p>・一人1 台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>定期考査</p>			○	○		1
3 学期	<p>単元 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭</p> <p>【知識及び技能】 日本とドイツに対する連合国の戦後処理の目的と結果、および国際連合を中心とした国際平和協力について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦がヨーロッパ諸国に及ぼした影響について考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2度の世界大戦が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。</p>	<p>・問い 第二次世界大戦を経て、国際秩序はどのように変化していったのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①戦後の新たな国際秩序 ②冷戦の始まり ③日本撤退後の東アジア ④日本の改革と独立の回復</p> <p>・地図や史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかを考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制における課題が、現代社会にどのような影響を与えているかについて考察し、解決策を追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>単元 冷戦で揺れる世界と日本</p> <p>【知識及び技能】 高度経済成長に至る経緯を、55年体制や冷戦に着目して理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本が高度経済成長を達成することができた要因を国内外の情勢と関連させて考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦期における各国の動向を踏まえ、現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。</p>	<p>・問い 冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はこのような選択をしたのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ②冷戦下における日本の復興 ③第三勢力の形成と脱植民地化 ④中東戦争とパレスチナ問題</p> <p>・地図や史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 55年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦期における各国の動向、現在の社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>定期考査</p>			○	○		1
							合計
							70





2 学 期	<p>Action! Part 2 富士山に登ろう</p> <p>【知識及び技能】 ・助動詞 (must, should) を使った文を理解している。 ・助動詞 (must, should) を使った文の理解を基に守らなければならないルールについて発表する技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 守らなければならないルールについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えられている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 守らなければならないルールについて聞いたり読んだりしたことを活用しながら自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。</p>	<p>・指導事項 山登りの際の注意点について発表する。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 ・助動詞 (must, should) を使った文を理解することができる。 ・助動詞 (must, should) を使った文の理解を基に、守らなければならないルールについて発表する技能を身につけることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 守らなければならないルールについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 守らなければならないルールについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手へ積極的に伝えようとしていることができる。</p>	○	○	○	4	
	<p>Lesson7 漢字を学ぶ秘けつ Lesson8 秋葉原ってすごい! Step Up 1 プレゼンテーションをしよう</p> <p>【知識及び技能】 ・現在完了形 (完了・結果、経験) を使った文を理解している。 ・現在完了形 (完了・結果・経験) を使った文の理解を基に過去に予定したことやその結果、これまでに経験したことを伝える技能を身につけている。 ・現在完了形 (継続)、現在完了進行形を使った文を理解している。 ・現在完了形 (継続)・現在完了進行形を使った文の理解を基に、これまで継続してきたことやその様子を伝えたり手紙を書いたりする技能を身につけている。 ・自分が紹介したいものを伝えShow&amp;Tellの方法を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 過去に予定したことやその結果、またはこれまでに経験したこと、これまで継続してきたことややってきたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手や読み手にわかりやすく伝えられている。 ・ Show&amp;Tellの方法を理解した上で、自分で紹介したいものについての自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えられている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 過去に予定したことやその結果、これまでに経験したことや、これまで継続してきたことやその様子について、聞いたり読んだりしたことを活用し</p>	<p>指導事項 ・現在完了形 (完了・結果・経験) ・現在完了形 (継続・現在完了進行形) 過去に予定したことやその結果、これまでに経験したことについて発表する。 ・これまで継続してきたことやその様子を伝える手紙を書く。 ・自分が紹介したいものを考え、Show&amp;Tellを行う。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 ・現在完了形 (完了・結果・経験) を使った文を理解することができる。 ・現在完了形 (完了・結果・経験) を使った文の理解を基に過去に予定したことやその結果、これまでに経験したことを伝える技能を身につけることができる。 ・現在完了形 (継続)、現在完了進行形を使った文を理解することができる。 ・現在完了形 (継続)・現在完了進行形を使った文の理解を基に、これまで継続してきたことやその様子を伝えたり手紙を書いたりする技能を身につけることができる。 ・自分が紹介したいものを伝えるShow&amp;Tellの方法を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・過去に予定したことやその結果、これまでに経験したことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 ・これまで継続してきたことやその様子について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手や読み手にわかりやすく伝えることができる。Show&amp;Tellの方法を</p>	○	○	○	9	
	定期考査													1
3 学 期	<p>Lesson9 お手製のパン</p> <p>【知識及び技能】 受動態を使った文を理解している。 受動態を使った文の理解を基に、好きな本や作品について紹介する技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 好きな本や作品について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを読み手にわかりやすく伝えられている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 好きな本や作品について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを読み手に積極的に伝えようとしている。</p>	<p>・指導事項 受動態 好きな本や作品について発表する。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 ・受動態を使った文を理解することができる。 ・受動態を使った文の理解を基に、好きな本や作品について紹介する技能を身につけることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 好きな本や作品について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを読み手にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 好きな本や作品について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを読み手に積極的に伝えることができる。</p>	○	○	○	4	
	<p>Lesson10 ギネスに挑戦! Lesson11 大きなお弁当</p> <p>【知識及び技能】 ・比較級や最上級を使った文を理解している。 ・比較級や最上級を使った文の理解を基に友だちや家族について紹介する技能を身につけている。 ・同等比較や倍数比較を使った文を理解している。 ・同等比較や倍数比較を使った文の理解を基に訪れたい国について日本と比較した場合の特徴について対話する技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・友だちや家族について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えられている。 ・訪れたい国について、日本と比較した場合の特徴を聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えられている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・友だちや家族について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。 ・訪れたい国について、日本と比較した場合の特徴を聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。</p>	<p>指導事項 ・比較 (比較級、最上級) ・友だちや家族について発表する。 ・比較 (同等比較、倍数比較) 訪れたい国について、日本と比較した場合の特徴について対話する。 教材 (教科書、プリント等) 一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	○	○	<p>【知識・技能】 ・比較級や最上級を使った文を理解することができる。 ・比較級や最上級を使った文の理解を基に友だちや家族について紹介する技能を身につけることができる。 ・同等比較や倍数比較を使った文を理解することができる。 ・同等比較や倍数比較を使った文の理解を基に訪れたい国について日本と比較した場合の特徴について対話する技能を身につけることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・友だちや家族について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 ・訪れたい国について日本と比較した場合の特徴を聞いたり読んだりしたことを活用しながら自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・友だちや家族について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしていることができる。 ・訪れたい国について、日本と比較した場合の特徴を聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしていることができる。</p>	○	○	○	8	

	<p>Action! Part 3「いちばん」当てクイズを作ろう</p> <p>【知識及び技能】 Lesson 11までに学んだ文法事項を理解し、それを基に、オリジナルのクイズを作成し、クラスで発表する技能を身につけている。また、道案内で使ういろいろな表現を理解し、それを基に、多様な状況で会話する技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 オリジナルのクイズを作成するためにペアやグループで話し合った内容や表現を整理してわかりやすい英語で伝えている。また、道案内での多様な状況を想定しながら、自分の意思を相手にわかりやすく伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 好きなスポーツや科目などについて対話したり、自己紹介したりしようとする。また、道案内での多様な状況を想定しながら、自分の意思を相手に積極的に伝えようとしている。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 Lesson 11までに学んだ文法事項</p> <p>・オリジナルのクイズを作成し、クラスで発表する。</p> <p>・道案内でのいろいろな状況を想定して会話をする。</p> <p>・教材（教科書、プリント等）</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 Lesson 11までに学んだ文法事項を理解し、それを基に、オリジナルのクイズを作成し、クラスで発表する技能を身につけることができる。また、道案内で使ういろいろな表現を理解し、それを基に、多様な状況で会話する技能を身につけることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 オリジナルのクイズを作成するためにペアやグループで話し合った内容や表現を整理してわかりやすい英語で伝えることができる。また、道案内での多様な状況を想定しながら、自分の意思を相手にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 好きなスポーツや科目などについて対話したり、自己紹介したりしようとする。また、道案内での多様な状況を想定しながら、自分の意思を相手に積極的に伝えようすることができる。</p>	○	○	○	3
備考										1
										合計 71

高等学校 令和8年度

教科 保健体育 科目 体育

対象学年組： 第3 学年 M 組

単位数： 2 単位

教科担当者： 鈴木 悠太

使用教科書： 発行者 大修館

教科書記号・番号 保体701

教科書名 現代高等保健体育

教科 「保健体育」 の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を活用できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を探究し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に教える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 「体育」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解し、技能を活用する。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見・探究し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の個性を大切にしたい意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
A 体づくり運動【知識及び技能】体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】健康・安全を確保することができるようにする。	(ア)体ほぐしの運動・いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。【思考・判断・表現】ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。【主体的に学習に取り組む態度】健康・安全を確保している。	○	○	○	8
C 陸上競技【知識及び技能】短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】健康・安全を確保することができるようにする。	(ア)短距離走・リレー (ウ)ハードル走 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識】技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。【技能】スタートダッシュでは地面を力強くキックして、徐々に上体を起こしていき加速することができる。【思考・判断・表現】自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。【主体的に学習に取り組む態度】健康・安全を確保している。	○	○	○	8
E 球技 ウ ベースボール型「ソフトボール」【知識及び技能】ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、(合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに)、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】健康・安全を確保することができるようにする。	ウ ソフトボール ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識】球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。【技能】タイミングを合わせてボールを捉えることができる。【思考・判断・表現】自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。【主体的に学習に取り組む態度】健康・安全を確保している。	○	○	○	8
H 体育理論「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」【知識及び技能】我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることを理解することができる。【思考力、判断力、表現力等】スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主	(ア)スポーツの歴史的発展と多様な変化 (イ)現代のスポーツの意義や価値 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】パラリンピック等の国際大会が、障害の有無を超えてスポーツを楽しむことができる共生社会の実現に寄与していることについて、言ったり書き出したりしている。【思考・判断・表現】スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。【主体的に学習に取り組む態度】スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2



高等学校 令和8年度（1、2、3学年用） 教科 機械 科目 機械実習

対象学年組： 第3学年 M組 単位数： 4 単位 教科担当者： 阿部 憲一

使用教科書： 発行者 \_\_\_\_\_ 教科書記号・番号 \_\_\_\_\_ 教科書名 \_\_\_\_\_

教科 「機械」 の目標

【知識及び技術】	機械の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	機械に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 「機械実習」 の目標

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械分野の学習活動で身に付けた技術に関わる知識を実際の作業に即して総合的に関連付けて理解するとともに、実際のものづくりの現場で活用することができる技術を身に付けるようにする。	機械分野の技術に関する課題を見だし、単に生産性や効率だけを優先するのではなく、工業製品が社会に与える影響に責任をもち、工業に携わる者として倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	機械分野に関する技術の向上を目指し、実際の作業を通して自ら学ぶ態度や、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	総合機械・内燃機関 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けさせる。	・指導事項 1. 総合機械① 機械分野の要素技術を総合化した内容を扱う。  2. 内燃機関① 二輪車の内燃機関分野に関連する要素的な内容を扱う。	総合機械・NC機械・内燃機関 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けている。	○	○	○	55
2 学期	総合機械・NC機械・鋳造 【知識及び技術】 鋳造に関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鋳造分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 鋳造分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けさせる。	・指導事項 1. 総合機械② 機械分野の要素技術を総合化した内容を扱う。NC工作機械を取り扱う。  2. 鋳造 鋳造分野の要素技術を総合化した内容を扱う。	総合機械・鋳造・内燃機関 【知識及び技術】 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けている。	○	○	○	55

3 学 期	<p>総合機械・レーザー加工</p> <p>【知識及び技術】 レーザー加工に関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、必要な技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 レーザー加工に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 レーザー加工に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けさせる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. 総合機械③ 機械分野の要素技術を総合化した内容を扱う。</p> <p>2. レーザー加工 レーザー加工の要素技術を総合化した内容を扱う。</p>	<p>総合機械・鋳造・内燃機関</p> <p>【知識及び技術】 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けている。</p>	○	○	○	30	
備 考								合計 140

高等学校 令和8年度

教科 機械 科目 機械製図

対象学年組： 第 学年 M 組 単位数： 2 単位 教科担当者： 佐藤 祐次 藤井 祐介  
 使用教科書： 発行者 実教 教科書記号・番号 工業702 教科書名 機械製図  
 教科 「機械」 の目標

【知識及び技能】	機械の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	機械に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 「機械製図」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械分野に関する製図について日本工業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	製作図や設計図に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	機械分野における部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学期	製作図 【知識及び技術】 製作図の課題を通して基礎的な知識・技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業まとめの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・指導事項 1. 製図の役割 （1）製図と規格 （2）図面の表し方 2. 機械に関する製図・設計製図	【知識・技術】 製作図の基礎的な課題を通して知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 授業まとめの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	39
	CAD製図 【知識及び技術】 二次元CADの課題を通して基礎的な知識・技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業まとめの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・指導事項 1. 情報機器を活用した設計製図 （1）CADの機能 （2）二次元CAD	【知識・技術】 二次元CADの基礎的な課題を通して知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 授業まとめの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	39
3 学期	CAD製図 【知識及び技術】 三次元CADの課題を通して基礎的な知識・技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業まとめの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・指導事項 1. 情報機器を活用した設計製図 （1）CADの機能 （2）三次元CAD	【知識・技術】 三次元CADの基礎的な課題を通して知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 授業まとめの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	27
備考							合計
							105